

## 事業の必要性

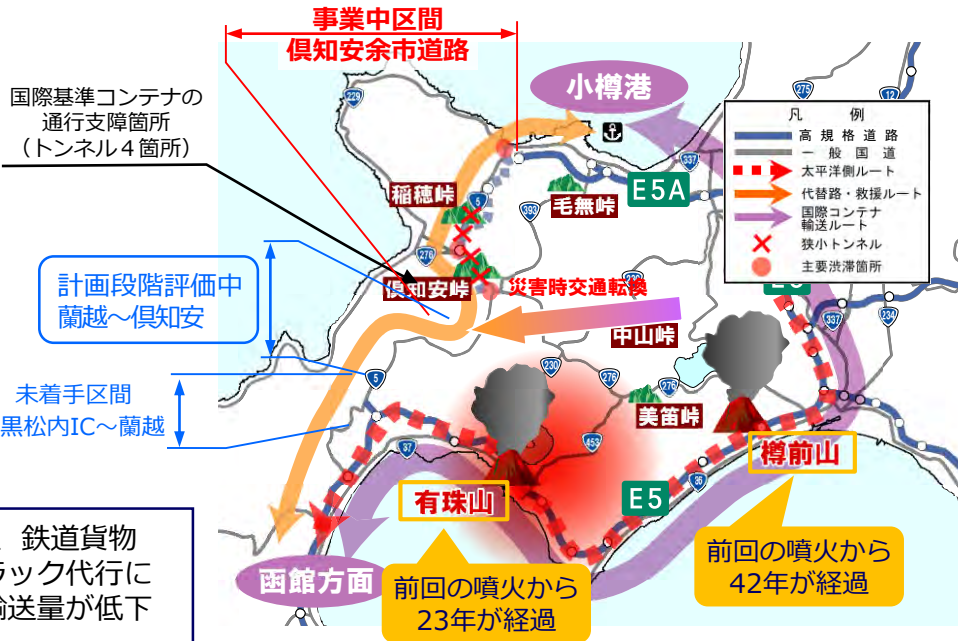
### 【大規模災害時の代替ルートの確保】

平成12年の有珠山噴火により、北海道縦貫自動車道が約15ヶ月間通行止めになったほか、JR室蘭線も不通となるなど、北海道と本州間の人流・物流に重大な影響が出ました。大規模災害（噴火・地震・津波）に備えて信頼性の高い代替ルートの整備が必要です。

#### ▼有珠山の噴火周期



2000年の有珠山噴火時には、鉄道貨物輸送は一般道を利用したトラック代行による輸送に変更したため、輸送量が低下し輸送時間も増加。



### 【道東自動車道における暫定2車線区間の4車線化】

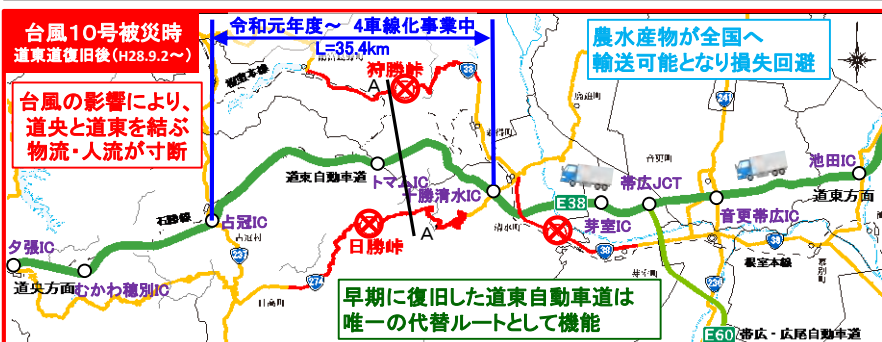
平成28年8月の台風で、道央と道東を結ぶ国道・鉄道が長期間に渡り通行止めとなりました。

道東自動車道も被災しましたが、わずか1日で復旧し、物流や人流を支えました。しかし、暫定2車線区間であるため、事故処理や緊急工事の際には通行止めになるなど、安定的な交通の確保が課題となりました。災害時の迅速な復旧のためにも4車線化が必要です。

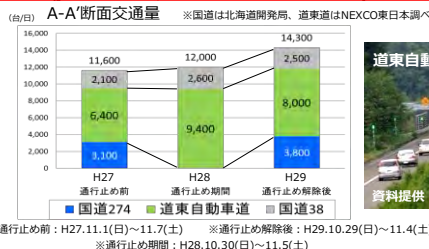
#### 4車線区間の復旧イメージ



4車線区間であれば、応急復旧から本復旧に至る期間も通行が確保



【通行止め期間】  
道東自動車道  
平成28年8月30日(被災直後)  
～平成28年9月1日(約2日間)  
⊗国道38号狩勝峠  
平成28年8月30日(被災直後)  
～平成28年9月11日(約12日間)  
⊗国道274号日勝峠  
平成28年8月30日(被災直後)  
～平成28年10月27日(約14ヶ月間)



火山砂防施設や土砂災害対策施設など自然災害に備えた災害防止施設の整備や災害に強いまちづくりなどの推進

主な要望内容

●自然災害に備えた安全性の高い災害防止施設の整備

・火山砂防施設や土砂災害対策施設の整備

【樽前山（たるまえ 苫小牧市）、十勝岳（としかち 美瑛町、上富良野町）、北海道駒ヶ岳（こまがたけ 森町）、石狩川水系（札幌市など）、十勝川水系（帯広市など）、小樽高島1丁目・2丁目1地区（小樽市）、飛生川（とびうがわ 白老町）、タネトシナイ川（とねとしないがわ 利尻町）、暑寒別川（しよさんべつがわ 増毛町）、厚内川（あつないがわ 浦幌町）、美生川（みせいがわ 芽室町）など】

・病院、老人ホーム、幼稚園などの要配慮者利用施設を守る土砂災害対策の推進

【茂生1の沢川（おしやまのさわがわ 石狩市）、芦別本町地区（芦別市）、小樽蘭島1丁目4地区（小樽市）、長万部高砂1地区（長万部町）、大林川（洞爺湖町）、遠軽西町2丁目1地区（遠軽町）など】

・高潮・侵食・津波対策などの海岸保全施設の整備

【度杭崎海岸（森町）、海岸町海岸（羅臼町）、大岬海岸（こじょうはま 稚内市）、虎杖浜海岸（とびけさき 白老町）、胆振海岸（白老町）、浜中海岸（浜中町）、野付崎海岸（標津町・別海町）など】

●災害に強いまちづくりの推進

・盛土等に伴う災害防止に関する基本方針を早期策定、財政的及び技術的支援 【道内全域】

・大規模災害から人命・財産を守るための住宅や建築物の耐震化の促進  
【富良野スポーツセンター（富良野市）、奈井江町役場庁舎（奈井江町）など】

・災害時の避難、防災活動に寄与する公園等の整備 【東光スポーツ公園（旭川市）など】

・浸水被害から都市機能を守るための下水道の整備 【旭川市、帯広市、苫小牧市など】

・市街地における地区レベルの避難路・避難施設等の整備  
【早来地区（安平町）、幌内・富里地区（厚真町）、大曲並木地区（北広島市）など】

・日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震特別措置法に基づく津波避難場所・避難路の整備  
【花咲港地区（根室市）、港町地区（厚岸町）、大津地区（豊頃町）など】

●水害や大雪などによる被害を軽減する危機管理体制の充実と地域防災力の向上

・大規模氾濫減災協議会の推進 【道内全域】

・洪水時の河川監視の充実 【道内全域】

・大雪に備えた危機管理体制の充実 【道内全域】

・活発化する火山活動に備えた対策の推進 【たるまえ 樽前山、うす 有珠山、北海道駒ヶ岳など】

●建設産業の担い手確保や持続可能な経営への支援

・技術・技能の継承のための関係支援事業の継続及び予算の確保 【道内全域】

・地域が主体となって行う担い手確保・育成の取組を支援する制度の創設 【道内全域】

・地域の経済や雇用などを支える建設産業の経営が持続可能となる安定期予算の確保 【道内全域】

【火山砂防施設や土砂災害対策施設の整備】

▼十勝岳（上富良野町）



富良野川3号砂防堰堤

【高潮・侵食・津波対策施設などの

▼度杭崎海岸（森町） 海岸保全施設整備】



海岸保全施設整備

【住宅や建築物の耐震化の促進】

▼市民会館（函館市）



【大雪に備えた危機管理体制の充実】

▼令和4年2月札幌圏を中心とした大雪の対応検証

＜各道路管理者等の連携強化＞

【シーズン前 連絡調整会議】※降雪前に実施  
・今冬の除雪計画（路線、地域ルール等）  
・連絡体制（通常時、豪雪時）  
・各管理者の人員・保有機械  
・その他（安全管理、機械貸出の周知等）

【中間 連絡調整会議】※除排雪期間中  
・豪雪時など必要に応じて調整会議開催

【シーズン後 連絡調整会議】※融雪後に実施  
・道路除排雪結果の報告  
・意見交換（次年度の課題、改善点）

【日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震特別措置法

に基づく津波避難場所・避難路の整備】

▼港町地区（厚岸町）



厚岸町津波緊急避難施設（完成イメージ図）

【建設産業の担い手確保や

持続可能な経営への支援】

▼高校生と若手建設産業就業者との意見交換会

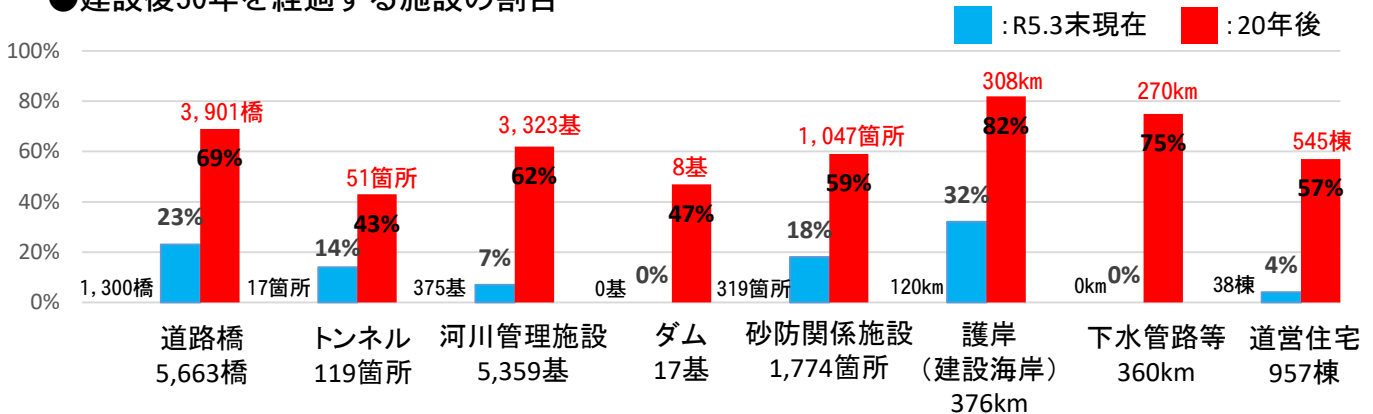


事後保全型から予防保全型のメンテナンスに移行するためには、**老朽化対策予算の確実な確保**や、長寿命化や維持管理に係る**制度の創設**や**財政支援の充実・強化**が必要。

## ■ 予防保全型インフラメンテナンスへの移行に向けた老朽化対策

北海道では、高度経済成長期に整備された大量の社会資本が、今後一斉に更新時期を迎える。限られた財源で、効率的・効果的な維持管理を行うためには、社会資本の機能に支障が生じる前に対策を行う「予防保全」が必要であるが、早期・緊急措置の対象施設が多く、対策コストが膨大であるため、予防保全への移行が遅れている状況。

### ● 建設後50年を経過する施設の割合

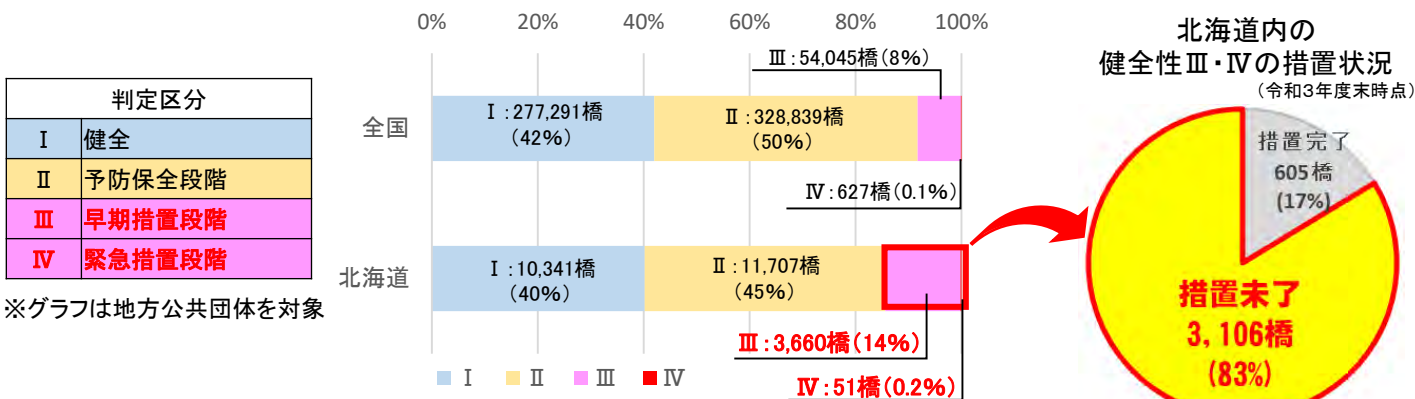


注1) 管理施設数はR5.3末時点

注2) 河川管理施設は、堰、樋門樋管、水門、排水機場

注3) 砂防関係施設は、砂防堰堤、地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設、雪崩防止施設

### ● 橋梁の令和3年度末時点の点検結果

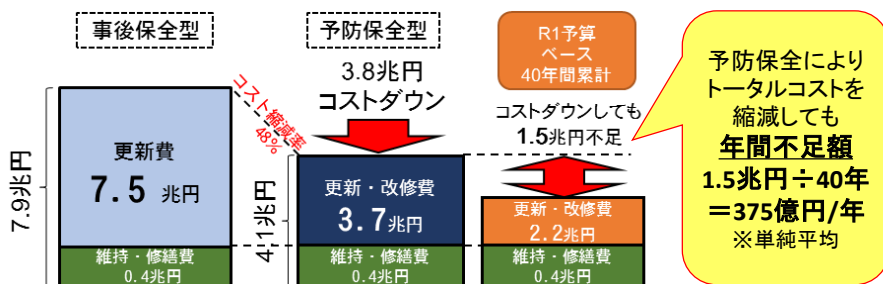


※グラフは地方公共団体を対象

道路メンテナンス年報(令和4年8月)

### ● 予防保全によるトータルコスト縮減

※道が管理する施設の維持管理・更新に係る経費の見込み額(今後40年間の推計)



【出典:北海道インフラ長寿命化計画(行動計画)(令和5年3月)】

#### ▼ 橋梁



#### ▼ 樋門

